

庁舎改築周辺整備事業 基本設計（案）住民説明会 参加者意見整理

日 程：令和8年3月13日（金）及び14日（土）

場 所：中央公民館 大講堂

参加人数：78名

質 問 者：29名

質 問 数：43

※説明会における参加者の意見をカテゴリ別に箇条書きで整理しました。

意見の要旨及び町の回答は、4ページ以降をご覧ください。

○事業費（ライフサイクルコスト（LCC）を含む）

- ・基本計画時に物価上昇をみても90億円が妥当だと言っていたのに、今回124億円とした理由は何か。
- ・自分の家を建てる時には物価上昇も加味して予算を決めるが、そういった意味での本事業の予算（キャップ）はいくらなのか。
- ・LCCの使用期間が100年ということだが、100年の計算ができるのか。
- ・町はいろいろな公共施設があるが、それらもLCCで示してもらえれば、財政の安全性が分かってくるのではないか。
- ・非常用発電機用の油を取替えるために費用がかかると思うが、その分のコストはLCCに入っていないのか。油は劣化するもので必ず入替えは必要になるのだから、コストの一部になるのではないか。
- ・建築費、外構工事で合計92億円となるが、この中庭の複雑な案を92億円で竣工することができるのか。
- ・新施設の建設後は現庁舎周辺土地の売却をしてほしいし、公民館はリノベーションでよい。
- ・住民登録2万人の町に130億円の庁舎はいらない。110億円から削減するというのが町長の公約ではなかったか。
- ・このB案（一体化案）を124億円で抑えるのは無理だと思うので、C案（公民館改修案）、もしくは中庭がない案にしたらどうか。
- ・アスベスト除去費が入っていないので総額とは言えないのではないか。
- ・青天井で巨額の税金を使う前に、次の選挙で住民の信を問うなど一旦立ち止まるべきである。
- ・約124億円という事業費は、すでに町議会で承認されているものなのか、あるいは今後の議会で承認される予定なのか。
- ・物価上昇によるコスト増は不可抗力であるため、今後はコンストラクション・マネジメント（CM）等の専門的知見を活用し、予算・品質・工期を厳格に管理して進めるべきである。
- ・工事費の算出根拠について、誰にどのようにヒアリングして積み上げたのか。寒冷地の

類似施設と比較する等妥当性を検証したのか。

○財政全般

- ・町長就任当時、6億円だった軽井沢病院の補助金が、令和8年度は12億円になっているし、中東の問題もあり、今後も何があるか分からない。
- ・町の財政は黒字だが、それが果たして健全だということが疑問である。
- ・公共施設を建てた後の取得原価、減価償却費、簿価といったものを資料としてしっかり出してほしい。
- ・公会計制度が始まっており、制度に則った決算書を出すべきである。
- ・ただ、安全安心と言われても誰も信じることができない。
- ・中東戦争により物流が止まったり、高騰したりすると思うので一度事業を止める考えはないか。
- ・建設費が上振れしたときのシミュレーションを行うべきである。
- ・黒字であることとそれを何に使うのかは別問題である。
- ・多額の負債を抱えることで、他の住民サービスへの影響が心配である。
- ・既存施設の老朽化比率が高いとのことだが、それらの施設の維持管理や更新のための減価償却費相当額は、町の基金として計画的に積み立てられているのか。

○住民参画

- ・別荘の固定資産税の割合の話があったが、この計画は別荘の方に説明会や通知など資料の提供をしているのか。
- ・軽井沢のホームページが見つらく、どんな会を開催しているかが分からない。
- ・賛成の立場として、合格点だと思う。過去何回か会合が行われたが、従来ではなかったことだし、これまで多様な意見が様々な方面から出ていた。
- ・町からの提案の図面を見てきたが、非常によく出来ており、早くこんな庁舎に行ってみたいと思う。
- ・多くの人がいろいろな意見を聴いて、最良な設計だと結論を出しているのに、少数の人によって決められている計画ととんでもなく理解が不足している人が少しの人が決めたと発言する資格はない。
- ・不利益を被る近隣住民に対し、情報提供や意見交換を行って、信頼関係を構築してから一般の方への説明をするのが常ではないか。
- ・改めて対話の場を設けて欲しい。
- ・既存施設の利用の仕方、利用率を考えて対話の場を作っていくって欲しい。
- ・区の説明に行ったが、来ているのは区の役員ばかりである。
- ・町を賛成派・反対派で二分しないために、利害関係のない第三者を交えて話し合う場を設けるべきである。
- ・見直して以降様々な機会を捉えて住民と検討してきた経過があるのに、今になってもう一度見直そうというのは、何だろうと思う。町からは多様な意見交換会の場は提供され

てきている。

- ・現計画の敷地形状になったのも、隣接地の方が町のためになるならと言って手放してくれたからである。
- ・本計画は今始まったことではなく、時間をかけて意見を取り入れながら進んできていると思うが、なぜ今になって異論が出るのか。今まで異論が出なかったというのは認めていたということではないのか。
- ・新施設を老若男女問わず集い利用することで、よりよい町になることを期待する。
- ・総合的に考えて本計画に「賛成」の立場である。庁舎問題は長年議論されており、これ以上時間をかけるべきではない。

○基本設計（案）

- ・公民館を壊すとCO₂が増加するため、C案を推す。
- ・災害に対する手当は先に行って欲しい。
- ・老人福祉センターのお風呂を残してほしい。また、解体する前にリフォーム、新設は考えていなかったのか。
- ・少人数の設計者と一部の関係者だけが安心するだけで、この庁舎が2万人の町にふさわしいと感じない。
- ・「質実剛健で品格があり、機能美が感じられる軽井沢らしい庁舎」ということだが、庁舎というのは、行政機能を処理するために供する建物ではないのか。
- ・北海道八雲町がとても庁舎と思えないような外観の建物である庁舎建設を白紙撤回したが、当町の事業ももう一度見直し、再検討を望む。
- ・議場は、議員を後ろから見るのではなく、できれば横から見るような設計が欲しいと思っていた。
- ・何故庁舎の検討をいつの間にか交流センターと一つにする複合施設にしたのか。
- ・工事の発注業者は決まっているのか。また、発注方法はどうなるのか。
- ・建物の高さが高いので日陰がかなり伸びると思うが、どういった想定なのか。
- ・中間期に開放できるような稼働間仕切りはどこに行ってしまったのか。
- ・内装の木が少ないように感じるが、もう少し増やせないのか。
- ・中高生の寄り道等を想定していると思うが、他自治体で使われていない事例があり心配である。

○本事業以外の施策の充実

- ・130億円のうち50億でもいいから、住民のために使って欲しい。
- ・庁舎より先に風呂釜のない町営住宅に風呂釜を設置するべきである。
- ・若い人たちに住んでもらうためには庁舎にお金をかけるのではなく、住宅補助をしなくてはならない。
- ・事業費を減らせば町営住宅に風呂釜を付けられるとの声もあったが、それは並行して行っていけばよい。

庁舎改築周辺整備事業 基本設計（案）住民説明会 発言要旨

日 程：令和8年3月13日（金）及び14日（土）

場 所：中央公民館 大講堂

参加人数：78名

質 問 者：29名

質 問 数：43

※説明会における参加者及び町（設計者含む）の回答をカテゴリー別に整理しました。
（参加者の発言は黒字、町の回答は青字です。）

○事業費

【1】

- ・当時、基本計画時に約71億円の工事費、その他で20億円、併せて90億円が一つの目安になると言っていた。この時に、物価上昇をみても、この90億円が妥当だと言っていた。そして今回、124億円という数字示されたが、理由は何か。
⇒全てが入っていて110億円というわけではなく、部分的に110億円ということで、例えば、そこで申し上げると、基本計画に掲載しているが、今私たちが123.9億円と出しているものと同じで比べると、その当時、123.1億円であったり、それが物価上昇によって、様々な数字が変わってきているが、そのままやっていると、総事業費168億円になるということで、それに対して今回の計画は123.9億円とお示ししている。
- ・年率で7%物価が上がっていくと想定していて、今回124億円が1年前の基本計画とほぼ変わらないという話になっていると思うが、例えば来年の2月末に実施設計が終わって見積もりをしたら、仮に7%上昇していたら130億円になる。さらに3年後、7%ずつ上がっていくと想定すると141億円になる。追加工事でまた別途費用が掛かってくる。普通、自分の家を建てる時には予算を決めるが、これを決めないといつまでたっても繰り返すだけである。まず、予算はいくらなのか。
⇒おっしゃっている数字は、タイミングによって比較も違う。予算というのは現時点では124億円。この先の上昇というのものもあるが、個人の住宅を作るのとは状態は違うのはご理解いただいていると思うが、簡単に個人の住宅と比較はできない。1年後何%上昇するというのは、当然シミュレーションしながら、さらに落とせるところはないかということには行っていく。最終的に、受注していただくところがないとできないので、それに対するの対策というのは準備していく。
- ・今回の事業費は、建築費77.5億円、外構工事14.5億円で合わせて92億円となる訳だが、この先実施設計を受けて、この中庭の複雑な案を92億円で竣工することができるのか。当然オーバーを思うと思うが、もしできなかつたらどうするのか。
⇒先ほど、私が事業費を答えなかったと言われているが、何度も123.9億円と申し上げている。
⇒（J V）今回、2回設計をやり直している中で、工事費を抑えるための工夫を相当検討

してきた。面積も、機能を低下させずに面積を減らす方法を取りながら、物価上昇に対して、しっかりと答えるために設計者として検討してきた。昨今の物価上昇については、材料費については、概ね高止まりしてきているが、一方で労務費は今後も上がってくるだろうと推測している。想定している範疇を超えるような物価上昇があれば別だが、今の状況を踏まえながら、これからの設計の工夫をしていって、その範囲の中で抑える工夫はしていけると思っている。

・寒冷地で、中庭で、しかも閉じられている複雑な設計で、本当に減額ができるのか。

⇒(JV) これ以上面積を減らそうとすると、機能の低下につながるなので、その場合は町側と話し合わなければならない。これ以上削りようがないところまで削っている。そのために、どんな工夫をしていくかという、いろんなところにメスを入れていかないと厳しいという認識を持っている。中庭については、設計をやられていけば分かると思うが(15ページ参照)、中庭に直面する形で四季のひろばがあるが、ピロティーになっている空間があり、中庭に雪がたまった場合は、そこから排出する工夫をしている。

・ABC案の検討時に各区に説明に行った際、金額を伝えているのか。

⇒区への説明はABC案の検討であり、金額が出ているものではないので、この時点では金額は伝えていない。しかし、2回目の区への説明の際は、基本計画が策定されていたので金額は伝えている。

・124億円で抑えるのはこのB案では無理だと思うので、C案、もしくは中庭がない案にしたらどうか。

⇒委員会でも議論になったが、例えC案にしたとしても半額に下がるといったことはない。うえ、計画全体で見ればほとんど差はなくなる。

・アスベスト除去費が入っていないので総額になっていないのではないのか。

⇒アスベストはあることは分かっているが、どの程度あるのか分からないため金額を出すことが不可能であるため、その旨記載している。

【2】

・ライフサイクルコストの使用期間が100年ということだが、100年の計算ができるのか。保全コスト、例えば50年で大規模修繕、建替えがあるのでは。現施設と新施設との比較についても、どうなのか。

⇒(JV) この建物は100年維持する建物として設計しているので、100年で換算している。例えば30年とすれば、30年持たせる建物で設計するが、100年の建物として設計しているのでご理解いただきたい。保全については、先ほどの資料のグラフをご覧いただくと、棒グラフで示した部分が、大規模修繕を行うタイミングになる。屋根材の修復、設備等の交換など、非常に大きな費用が掛かる分について反映している。100年のターンの中で、適切な期間の中で修繕をされた時の保全コストが加味されている。

・町にあるいろいろな公共施設があるが、それもこういう形で示してもらえるか。それが分かれば、水面下の部分が理解しやすくなって、財政の安全性が分かってくるのではないのか。

⇒公共施設総合管理計画の中で、平成29年から40年間の見通し計画がある。同じように100年見通した計画が作れるかどうかは、国の指針に基づき作成しているものなので、発言

は差し控える。ただし、計画は見直しを都度行っているので、最新のものに更新していく。

【3】

- ・借金は少ない方が良く、庁舎はコンパクトで機能的で職員が働きやすければ良い。新施設の建設後は現庁舎周辺土地の売却をしてほしい。公民館はリノベーションでよい。一体化は前から決まっていたと言っていたが、見直しはそこら辺のために行ったのではないか。

⇒見直し前は複合施設もあったが、見直し後にABC案を再考し、決定したものである。子どもからの居場所が欲しいとの声もあり、コミュニティ維持に必要な土地であるので、土地の売却は行わない。

【4】

- ・庁舎の改築には反対ではないが、小さな町に対して予算が高い。テーマパークを10個建てるようなものだ。住民登録2万人の町に130億円の庁舎はいらない。110億から削減するというのが町長の公約ではないか。

⇒そもそもテーマパークではないのでそこの比較は参考にならない。軽井沢町は別荘民や交流人口が多いので、住民登録だけの人口で考えるべきでない。単純に2万人に対して130億円が多いというものではないと考えている。以前の計画と今回のものだと総事業費に含まれるものが違う。同じ土台に乗せると168億円が比較として正しいため44億円の削減につながっている。庁舎と公民館の2つの建物であるため他市町村の庁舎のみとの比較にはならない。公民館の存続も考えたが、ランニングコスト等を含めた際に金額がほぼ変わらないうえ、合理性も踏まえて今の計画となっている。公民館のリノベは簡単なものではないため、単純に何十億減らせるといったものは根拠もなく比較にならない。

【5】

- ・100億円を超える巨大事業を一部の人間だけで一方的に決めるのは、民主主義に反している。町長は選挙の際、新庁舎整備事業は一旦凍結・見直すと公約していたはずだが、守られていないのではないか。物価高騰（ガソリン代など）で住民の生活が苦しい中、青天井で巨額の税金を使う前に、次の選挙で住民の信を問うなど一旦立ち止まるべきである。

⇒様々な方が参画しているので一部の人間が決めているというのはおかしい。賛否両論あることは承知しているが、町長就任後に検討委員会を立ち上げ、パブリックコメントや住民説明会など、必要なプロセスと手続きを踏んで現在の計画を進めている。見直し凍結によって金額の削減と合理化はできている。いただいた意見は一つの見解として受け止める。

【6】

- ・提示されている約124億円という事業費は、すでに町議会で承認されているものなのか。あるいは今後の議会で承認される予定なのか。

⇒基本計画や基本設計の段階ごとに都度議会へ説明し、理解を得てきている。今後の実施設計等に関する予算については、現在開会中の3月議会に提案し、審議・承認を求めている段階である。

【7】

- ・工事費（約77.5億円）の算出根拠について、誰にどのようにヒアリングして積み上げたのか。ゼネコンに聞いたのか。また、寒冷地仕様でコストが上がるのは理解するが、北海道など他の寒冷地の類似施設と比較して、建設面積や単価の妥当性を検証したのか。
- ⇒（JV）基本設計段階では詳細な図面がないため、メーカー見積もりを含め、山下設計にコスト部もあるので、設計者の知見や過去の類似案件の平米単価を基に概算で算出している。他の寒冷地の事例も参考にしているが、本計画特有の条件（免震構造や木材活用など）があるため単純比較は難しい。精緻な見積もりは次の実施設計段階で行う。ゼネコンに基本設計時に渡すのは公平性に欠けるため行わない。

○財政全般

【1】

- ・支出が前提になっていない。町長就任当時、軽井沢病院の補助金は6億円相当であった。令和8年度は、12億円。今、中東の問題もあるが、なにがあるかわからない。軽井沢病院の10年後、20億円になってないのか。そういった説明がないと分からない。
- ⇒支出前提の話だが、予定されているものはすべて反映している。
- 軽井沢病院に関しての比較は、同じ比較でない。軽井沢病院は公立病院であり、位置づけとしては、町民だけでなく、観光客、別荘の方々、様々な交流人口のセーフティネットであるという位置づけであり、しっかり守っていく。

【2】

- ・軽井沢町の財政は黒字だが、それが果たして健全だということが疑問である。
- ⇒財政力指数を維持していくために、魅力的なまちづくりを継続している。また、先人の努力によって維持できているので、それに基づくまちづくりをしっかりと行っていく。

【3】

- ・公共施設を建てた後の取得原価、減価償却費、簿価といったものを資料としてしっかり出してほしい。いわゆる老朽化率というのを公共施設ごとに出してほしい。
- ⇒一般会計は企業会計でないので、仕組みが違う。老朽化率というのは長寿命化計画等があるので、それに絡めてしっかり話していく。
- ・公会計制度が始まっている。御代田町、佐久市は公会計制度に則った決算書を出している。軽井沢町も出すべき。
- ⇒軽井沢町も公会計制度に則った決算書を以前から公表している。ご心配の株主自己資本率は、軽井沢町は98%位で、民間と比べれば、極めて超健全なバランスシート状態であるということを申し添える。

- ・安全だと誰が信用できるのか。令和20年までの表だが、起債は30年先まで払い続ける。建てたものの費用の維持、更新が必要。そういった費用をどこから捻出するかが必要。ただ、安全安心と言われても、普通の住民、別荘民、誰も信じることができない。
- ⇒かなりの積み上げで計算している。単純に30年後どうなるんだとか、悲観的な数字があるが、先ほど過去30年どうだったかという比較の話をした。今後30年後、同じ形で何倍になるかということは作成していないが、自然減少ではないので、我々の意思で行政が町をつくっていきけるし、税収も増える形で、今もまちづくりに取り組んでいる。30年以降も、今までの実績だけでも、また、20年までのところもかなりの根拠のある数字に基づいて、かなりの角度でこの計画を実現できると考えている。それ以上に見直すべき事実は発生していないので、今回お示ししたものが全てである。
- ・既存施設の老朽化比率が高いとのことだが、それらの施設の維持管理や更新のための減価償却費相当額は、町の基金として計画的に積み立てられているのか。
- ⇒手元に詳細な財務資料がないため即答は控えるが、計画的な基金の積立ては行っている。減価償却のバランスシート上には記載があると思うが、別途説明することとしたい。

【4】

- ・中東戦争については触れないのか。物流が止まったり、高騰したりがあると思うので一度事業を止める考えはないか。
- ⇒物流が止まる等が確定しているわけでもないのに事業を止めるのはありえないので、現時点では止めることは考えていない。
- ・金額が青天井なのはいかがか。
- ⇒青天井ではなく、物価上昇分を加味するといった意味である。物価上昇は今後どう上がるか分からないため、現在の金額に物価上昇を含められない。また、これ以上面積を削るようであれば機能を削ることになることをご理解いただきたい。
- ・区の説明に行ったが、来ているのは区の役員ばかりである。
- ⇒各区の事情もあると思うが、役員が意見をまとめている場合も多い。また、賛成の方は任せたということでも来ない方も多い。

【5】

- ・建設費が上振れしたときのシミュレーションを行うべきである。現在のシミュレーションではそのあたりが欠けているように感じる。
- ⇒中東の戦争は注視しているし、上振れ部分も今後検討しながら行っていく。実施設計に入ったから絶対に止まらないという訳ではない。

【6】

- ・中東情勢の悪化などで今後さらに物価が上昇するリスクがある中、このまま計画を進めるのか。多大な負債を抱える不安があるため、一旦立ち止まって見直す選択肢はないのか。
- ⇒先ほども話をしたが、現在事業を止めることはない。

○住民参画

【1】

- ・別荘の固定資産税の割合の話があったが、この計画は別荘の方に説明会や通知など資料の提供をしているのか。別荘の方から意見を求めたのか。税金が入ったからと言って、勝手に使えるというのは違う。
- ⇒今日のこの場もそうだが、町民限定で行っているわけではないので、別荘の方にも来ていただけることも含めて周知を行っている。また、別荘の方に対してであるならば、一昨年に、千件の別荘所有者の方を抽出して、実際に来ていただいた方に対してのご意見を頂く場を設けたり、別荘所有者あての広報にも記事を掲載して、毎年発行している。
 - ・軽井沢のホームページが分からない。通知を出しているだとか、何の会を開催しているのかが分からない。別荘の件数は何件なのか。何分の千件なのか。収入ではどれくらいの割合なのか。

⇒別荘の件数は、1万6千件ぐらいと言われており、そのうちの千件。それが、多いのか少ないのかは、個人の見解である。ホームページの分かりづらさは、その都度改善をしてきている。今後ともご意見をいただければ改善していく。

【2】

- ・賛成の立場で意見申し上げるが、私は、合格点だと思う。過去何回か会合が行われたが、従来ではなかったことだし、多様な意見が様々な方面から出ていた。これが民主主義であり、これをまとめるのは大変なことだと思う。集約するには2、3年必要だと感じた。今日もその延長線上であると思う。選択肢は3つ、このままやるのか、白紙撤回するのか、微調整するのか、その辺の民意がどの選択肢を選ぶかによって、これが民主主義だと思う。町におかれては、今日で終わりではなく、意見をしっかりと集約していただきたい。皆さんも、リスクとメリットを考えていただいて、投票行動なり法的措置をとるなり考えていただきたい。

【3】

- ・これまで、国・県・市町村の庁舎等は数十見てきた。今回の町からの提案の図面を見てきたが、非常によく出来ている。早くこんな庁舎に行ってみたいなと思っている一人。大賛成だ。ただ、個人的に希望を言うならば、議場の傍聴席がいくつあるのか、昔から議場というのは議員を後ろから見るのではなく、できれば横から見るような設計が欲しいと思っていたので、もったいないと思う。私自身としては、素晴らしい設計なので、できれば早く完成するようにまとめてもらいたい。
- ただ、先ほどの意見で、気に食わないことが一つ、少数の人によって決められている計画と、とんでもない理解の不足している人の意見に賛成する気持ちはない。多くの人がいろいろな意見を聴いて組織を作って、最良な設計だと結論を出しているのに少しの人が決めたと発言する資格はないと私は思う。
- ⇒(JV) 傍聴席については15席、車いす席と平場があるので20席ぐらい。現状と同等ぐらい。レイアウトについて、様々な意見で検討してきた。現状の議場の雰囲気を残しな

がら、議員の方々と議論をして決めてきた。

⇒傍聴者については、今、人数的にそんなに多くない。現在、ライブ配信を行っているので、自宅でも見られるようになってきている。新施設の中で、ライブ配信で見られる場所を職員も含め見られるように考えている。

【4】

・終の棲家として求めて、計画地の近くに引っ越してきたが、全ての車両の出入口は今の公民館の出入口になることは、私にとって最悪なことである。この計画は近隣住民に対して何らかの影響が出てくるものだと思っている。A案、B案、C案を作成する前に、せめて近隣住民に説明をして欲しかった。このことは、パブコメにも書いたし、地域の議員にも相談をした。令和5年12月の特別委員会で、金山議員から「庁舎改築によって最も影響を受けるのは、近隣住民であると思うが、そういった方々を対象に説明会を行う予定はあるか」との質問に対し、当時の課長は、「しっかり行っていきます」と言ったが、本日まで説明はなかった。不利益を被る近隣住民に対し、情報提供や意見交換を行って、信頼関係を構築してから一般の方への説明をするのが常ではないか。老人福祉センターを壊されて、日常環境が悪化して、この先の生活が不安で危機感を抱いている。回答は知らないが、会議録にはしっかり留めておいてほしい。

【5】

・住民の対話の場を設けていただきたいと町長へ手紙を出した。いつも一方通行なので、改めて対話の場を設けて欲しい。

⇒発言者とは、何度かお手紙のやり取りをさせていただいていて、それも対話の場であると思う。全体として、タイミングによりワークショップなどは実施設計が入った後でも続けていく。

・いつも一方通行で議論がない、時間が足りない。

⇒発言者には、私共の課にお越しいただいて2時間程度お話するといった対応はさせていただいており、それも対話の場であると思っている。それを私たちが拒否しているのならそういったご意見もあるかと思うが、私たちはしっかり対話を行っているということは言わせていただきたい。

・テーマごとの議論の場を設けてほしい。

⇒全ての人が納得するまでは、理想ではあるが難しい。今までも行って来ているし、実施設計でも同じ形で行う。

【6】

・黒字であることとそれを何に使うのかは別問題である。住民との議論がきちんとできていないのではないかと感じるので、事業を止めて話したほうがよい。人口減少を食い止めるには外部の人を招き、住む人が減っても開発をさせて人を呼び込むというものになる。住民同士が、中立立場の人がいる中で議論したほうがよい。

⇒人口減少を止めるというのは、増やすということでも開発を増やすということでもない。自然環境、景観保護を重点テーマとし、力を入れている。日本全体の人口が落ちるから

と言って町の人口が落ちるわけではない。住民が住んでいくための施策も打っている。住民との共同参画の枠組みの中で十分行えると考えている。

- ・多額の負債を抱えることで、他の住民サービスへの影響が心配である。このままでは費用が青天井になる恐れがあるため、既存施設の活用や機能の分散化も検討し、本当に必要なものだけに事業規模を縮小・見直すべきではないか。町を賛成派・反対派で二分しないために、利害関係のない第三者を交えて話し合う場を設けるべきである。
- ⇒住民参画については先ほど回答済みである。一体化としているのは、必要な機能を集約して効率化を図るため。多様な要望を調整し、すでに必要な機能に絞り込んでコンパクトにまとめた結果であり、これ以上の大幅な規模縮小は難しい。必要なプロセスに基づいて行って来ているので、改めて第三者を入れて行うことは考えていない。

【7】

- ・私は本件について賛成する立場として発言したい。3年前の町長選挙の時に一度見直そうということで本件が新しくスタートしたが、ここへ来て、またもう一度見直そうということだと今までの3年間は何だったんだろうと思う。これまで、住民説明会などのいろんな機会を捉えて、住民と検討してきた経過がある。私は、町からのいろんな情報を自分なりにホームページを見て、これだけの資料を勉強してきた。都度、町からの計画の進捗状況なりを私なりに判断をしており、本件については賛成である。「2万人ぐらいの小さい町でこんな贅沢なものを作ってどうなのか」といった意見があったが、町長が言われたように、住民票を持ってない別荘の方が7,500人ぐらいいて、更には1年を通して7,800万の観光客がいて、そういった人たちも含めて庁舎の対応は必要だと思うので、安い箱型の庁舎にすればいいということには私はならないと思う。また、「公民館は耐震ができてから残したままでいい、そうすれば50億減る」といった話があるが、それも町はABC案を1年間ぐらいかけて検討し、住民といろいろ論議した結果、B案を選んでいる。最後に、事業費を減らせば町営住宅にお風呂をとという話もあったが、それは並行して進めていけばよい。
- ⇒一体化案は1年かけて住民との意見を交わしてきた経過があるため、住民の意見を聴いていないという意見は意見を言った人を見下した発言だと感じている。様々な知見や意見を集約した結果の計画であるため、それぞれの方に敬意を払うべきである。

【8】

- ・まず、関係各位に感謝する。やっと整然とした敷地に庁舎計画ができるのも、隣接敷地を町のためになるならと手放していただけたからである。この新施設については、今始まったことではなく、時間をかけ、町民の意見を取り上げながら進んできたとは私は認知していたので、なぜ今、いろんな異論が出るのか。ここまでにはっきりと意見交換がなかったということは、全て認めていたという判断が、民主主義たることではないか。任せることが、何よりの策と思われることはないか。今までにない庁舎になり、老若男女、全ての町民が、気軽に集い利用したら、逆に良い方向の町ができあがってくるとも期待する。また、そうなるように使い勝手を模索してリードしていけばいいではないか。少しは明るい意見を持って、せっかくここまで頑張った計画をぜひ進めて、全うしていた

だきたい。

⇒多世代が集う場所で交流を大事にしていく。

【9】

・総合的に考えて本計画に「賛成」の立場である。庁舎問題は長年議論されており、これ以上時間をかけるべきではない。物価上昇によるコスト増は不可抗力であるため、今後はコンストラクション・マネジメント（CM）等の専門的知見を活用し、予算・品質・工期を厳格に管理して進めるべきである。

⇒（A）基本設計から実施設計に進むとコストコントロールの幅は狭まる。上振れリスクは±5%程度と見込むが、予測不可能な事態（戦争や急激な物価高騰など）には対応しきれない部分もある。引き続き、設計の中で最大限のコスト縮減に努める。

○基本設計（案）

【1】

・私は、C案を推す。何故かという、CO₂が、公民館を壊すと増加する。また、台風19号でも土砂崩れの被害があった。そういった対策はどう考えているのか。例えば砂防ダムや貯水池を造るのか、災害に対する手当は先に行って欲しい。

⇒後ほど防災面でも説明するが、町全体については、町の防災計画があるので、そちらの関連で説明できる部分だと思う。

【2】

・福祉センターのお風呂を残してほしい。広大な敷地があるのに、老人福祉センターの跡地を資材置き場にするとか、跡地を利用するしかないとか聞くが、こんな広い土地があるのに、今すぐ（解体が）必要か。

⇒資材置き場にするために、老人福祉センターを壊すわけではない。一体の施設をどのようにして考えていく中で、老人福祉センターは、木もれ陽の里があることと、新施設ができるといったことがある。施設はずっと残し続けることはできないので、整理した形である。

⇒（JV）広すぎるというのは誤解である。現庁舎と中央公民館を使いながら、新施設を作ることになる。そういったことを考えると、建てる段階は、非常に込み入った状態で建てることになるのでご理解をいただきたい。

・将来的に跡地は駐車場になると聞いたが。

⇒最終的に皆さんが使う駐車場となる。

・老人福祉センターを解体する前にリフォーム、新設は考えていなかったのか。

⇒様々な意見を頂き、様々な観点で取り壊しを決定した。解体については、条例で決定している。ご迷惑をおかけする場面をあるかと思うがご理解をいただきたい。また、事業費の中に老人福祉センターの新設は含まれていない。

【3】

- ・設計者の方たちはどのくらい軽井沢町に住んでいるのか。我々納税者からの税収が潤沢にあるから支払い能力があるということだが、また、少人数で設計したものに対して、125億つぎ込むことは、中東紛争が出始めているこのご時世、物価高騰も心配である。子どもも3人いるのでそこに押し付けるのも心配。納税者の町民が安心というよりも、少人数の設計者の皆さんと、一部の関係者だけが安心するだけで、この庁舎が2万人の町にふさわしいと感じない。設計者に対して、違約金はいくらだったのか。

また、吹き抜け庁舎に非常電源というよりも、各家庭に非常電源を配って欲しいくらい、160億円になるんだったら。災害に強い庁舎と書いてあるが、2万人の町民が避難する施設になっているのか。トイレの数やシャワーブースはあるのか。寝泊りできる施設となっているのか。

⇒まず2万人という話だが、冒頭でも申し上げたが、ただ2万人で計算するのは軽井沢町の特性を反映していないということになる。納税者についても、固定資産の納税義務者は4万3千件あるし、単純に一人当たりいくらというのは、交流人口が多い軽井沢、それから、様々な価値を持っている庁舎、その人口だけで考えるのは違うということとは明言する。

【4】

- ・「質実剛健で品格があり、機能美が感じられる軽井沢らしい庁舎」ということだが、実際に庁舎というのは、行政機能进行处理するために供する建物じゃないのか。国の官公庁施設の建設等に関する法律があるが、それに基づき、庁舎を建てている。ほとんどの自治体はこの国の法律に準拠して建てているのではないのか。

⇒今回の庁舎部分については、コンクリートのラーメン工法というもので真四角の工法。軽井沢町においては高さを抑えて1/5勾配以上の屋根をつけなければならない。ある程度も規模の建物になると、平面形が斜めになるから高いということはない。その上で、庁舎部分は四角く作っている。

- ・北海道の八雲町が庁舎の建設を白紙撤回した。建物の外観をみると、とても庁舎と思えないような建物である。軽井沢町の黒字というのはおかしい。インフラ整備というものはどうなのか。この庁舎検討をもう一度見直し、再検討を望む。

⇒ご意見として承る。

【5】

- ・18ページの現施設と新施設の比較だが、防災対策として非常用発電を大きくしているが、油の容量も大きいと思うが、3ヶ月から6ヶ月ぐらいで全取替えをする指針が出ている。油を取替えるために費用がかかると思うが、その分のコストはここに入ってこないのか。

⇒(JV)あくまでも、日常的に届けられる水、電気、ガス等になるのでこれが光熱水費となっている。非常用発電機に対する備蓄に対する物は入っていない。現施設に対しても、新施設に対しても除外されている状態のランニングコストとしてみていただきたい。

- ・非常用発電機が大きくなっているの、コストとして増えるのではないのか。油は劣化するもので、必ず入替えは必要になるのだから、ランニングコストの一部になるのではな

いか。

⇒(JV) 油に係るコストについては、改めて調べてお示ししたい。

【6】

- ・こういうことに、時間をつぶすことに疲れてきている。そもそも、何故庁舎なのに、いつの間にか交流センターと一つにする複合施設にしたのか。それによって金額が膨れ上がった。行けば何かがある、何かをやっている、そういった場所にしたいというが、誰がそう思うのか。目的を持った施設を切り捨てて、目的があるのかないのか分からない施設を優先して作るのか。

⇒公民館は元々前の計画で改築するとなっていたが、二つの計画を一つにした。突然出た話ではない。逆に一体とすることで効率化を図ったということを理解いただきたい。なので、公民館を改築するのは元々あった計画である。

また、交流センターは、勿論、庁舎機能をもった施設であり、例として、コミュニティの維持の中で、様々な人が出かけてくる場所として、ただの箱物の話ではなく、そのための仕掛けとか移動の手段とか準備していく訳だが、また、若い世代からは、自分たちの居場所が欲しい、高齢者の方にも必要とされているが、そういったことも含めて、何かある、誰かいるという形で出かけてくる人がいるということ。発言者は出かけてくるつもりはないかもしれないが、是非出かけてきて欲しい。そういう仕掛けをしていきたい。そういう場所が欲しいという方々も大勢いる。ここにいらっしやらない大多数の方々に、『そういった意見を様々な形で、少人数で決めた訳でない、すべて適切なプロセスを経て、様々な人が知恵を絞って、意見を集約し、本日のプランができています』ことをご理解いただきたい。

- ・優先順位が何かということかと思う。既存施設をどのように利用していくのか、利用率を考えてそういう場を作っていくって欲しい。対話の場を、幅を広げて欲しい。

⇒ご意見として賜る。

【7】

- ・どこの業者に発注するのは決まっているのか。また、発注方法はどうなるのか。

⇒(JV) 現在決まっていないが、随意契約はあり得ない。業者は発注時に要件を示し、要件にあった業者が参加するものになると思われる。

【8】

- ・建物の高さが高いので日陰がかなり伸びると思うが、こういった想定なのか。

⇒等時間日影で確認したが、敷地内で解消されている(図面で説明)。

【9】

- ・中間期に開放できるような稼働間仕切りはどこに行ってしまったのか。一部木造は何を指しているのか。内装の木が少ないように感じるのももう少し増やしていけないのか。手すりなど手に触れるところは木などの温かみのある素材を使ってほしい。

⇒中間領域がないとZEB Readyが達成できないのもあり、今も残っている。アウト

ースキンとインナースキンを開けたり閉めたりすることで風の流れを作り、二重になることで断熱性能も高めている。諸室は空調をしっかり行うが、中間領域は自然のエネルギーをしっかり使っていく計画である。木造は物価上昇もあり、少なくなってきたしまっている。内装の部分もコストがそこまで張るものではないが、入れすぎると影響を受ける場合があるのでバランスを見ながら可能な限り入れていく。

【10】

- ・中高生の寄り道等を想定していると思うが、繁忙期は渋滞で親の送迎が行えない。最近行われた寄り道カフェでは一人も高校生は来ていなかった。御代田町の広場も3年しかたっていないが使われていない。
- ⇒子どもの居場所は要望もある。使われないと寂しいといった話もあるがソフト面も今後検討していく。直接意見を聴いた経緯もあるうえで検討し、反映している。

○本事業以外の施策の充実

【1】

- ・住民に対して、庁舎の130億というのが高すぎる。福祉、教育、町の安全や自然保護とか足りていないことがいっぱいあるし、野生動物が死んでいるところをいっぱい見てきた。その対応はどんなことをされているのか。130億のうち50億でもいいから、住民のために使って欲しい。町営住宅に住んでいるが、浴槽のない団地がある。築年数が35から47年の木造住宅も経年劣化しても変えていない。カビとか健康面とかその辺どう考えているか。
- ⇒庁舎に限らず、様々な部分で手当てをしているが、全てに行き届いていないことも理解している。町営住宅に関しては、順次様々な部分の改善を進めている。お風呂がないところは順番に設置している。また、野生鳥獣対策、自然保護対策、軽井沢町は様々な多様なニーズがあるので、バランスよくできる限り対応していく。130億円が高いかどうかは、必要なものを作るかどうかという話である。今この時点で必要なものとしてしっかり作らなければいけない時期であると考えている。また、数十億レベルで下げられるという話は、根拠は分からないので現時点でコメントはしない。
- ・公営住宅に風呂釜がないところがあるので、庁舎より先に風呂釜の設置をするべきである。
- ⇒以前の方針は風呂釜が持ち込みであったが、現在順番に設置していくよう対応している。

【2】

- ・借金は少ない方がよい。若い人たちに住んでもらうためには庁舎にお金をかけるのではなく、住宅補助をしなくてはならない。
- ⇒町営住宅は所得の低い人のためだが、違う形で若い人たちが住めるような住宅等を検討している。場所等を含めて簡単にできるものではないので少しずつしっかりと行っていく。